

多様なアクターによる環境保全 「久留女木の棚田 耕作放棄地再生プロジェクト」



引佐耕作隊

URL <https://www.suac.ac.jp/topics/topics/2019/01889/>
<https://www.facebook.com/lnasaKosakutai/>
<https://twitter.com/inasakousakutai>

引佐耕作隊は、2016年4月から久留女木の棚田（浜松市北区引佐町久留女木地区）における耕作放棄地の解消を目的に活動を開始しました。農作業は学生主体で春から秋にかけて週に1回の頻度で行っています。2021年度は2枚の田んぼ（286㎡）を耕作し、105kgのお米を収穫しました。

収穫したお米は大学生協購買や浜松市内の飲食店等において「久留女木 棚田の恵」という商品名で毎年販売しています。商品のパッケージデザインやポスターには「棚田の多面的機能」が消費者の方々に伝わるようなデザインを採用しています。耕作された棚田には、食糧生産の他に水源涵養・生態系の多様化・美しい景観の創出・都市農村交流の機会提供といった機能があり、これらは「棚田の多面的機能」と呼ばれています。その恩恵は棚田周辺の地域住民だけでなく都市住民も享受しています。商品を購入することで棚田を耕作していない人にも棚田の保全に関わってもらい、販売利益は今後の活動費に充て持続可能な活動を目指しています。また、都市部におけるイベントで活動報告を行うなど「棚田の多面的機能」を都市住民に広く知ってもらう活動も展開しています。

今後の目標は、面積当たりの収穫量と耕作面積を増やすことです。収穫量を増やすことで商品の販売個数を増やし収益を増やすとともに、より多くの人に棚田や「棚田の多面的機能」の重要性について知ってもらう機会を創出したいと考えています。また、棚田に関わる人を増やしていくなかで、様々なアクターを巻き込み棚田保全に取り組んでいきたいです。



学生主体で田植えを行う様子



販売した「久留女木 棚田の恵」(2021年度)



引佐耕作隊